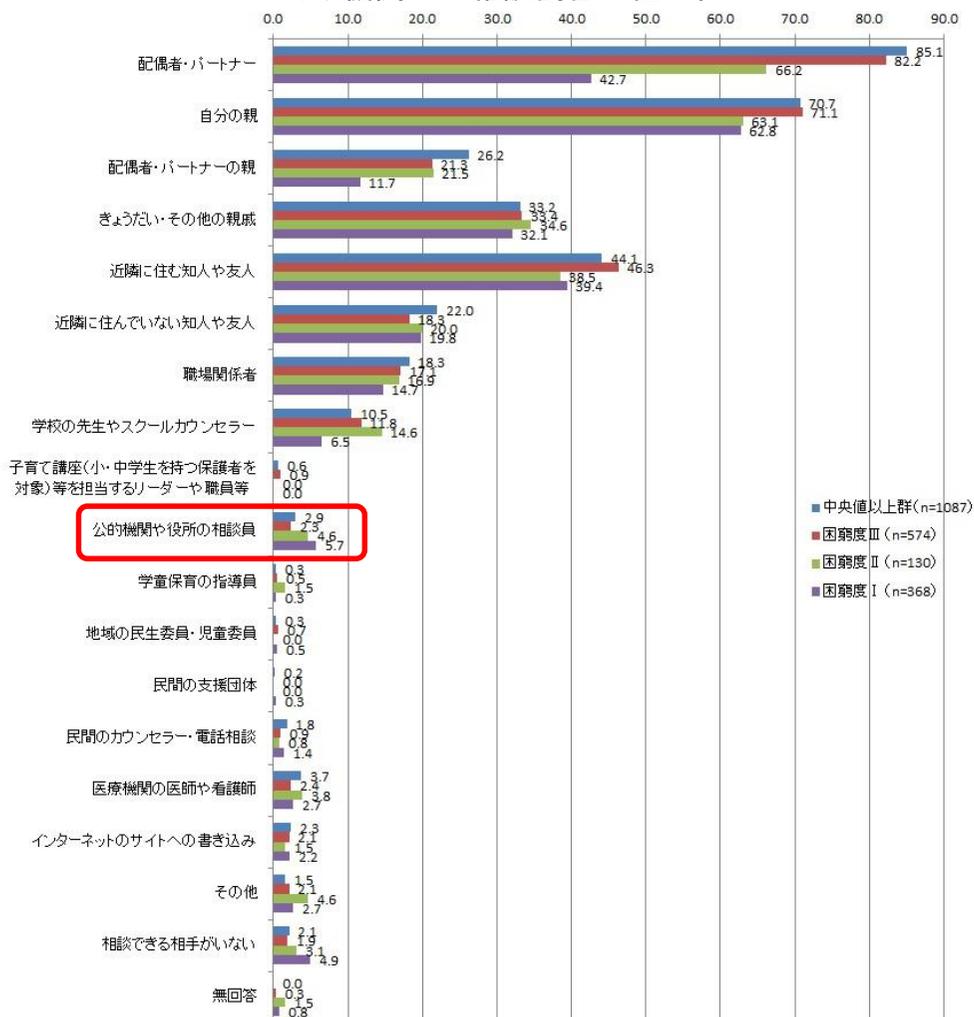


5. 親への相談支援に関すること

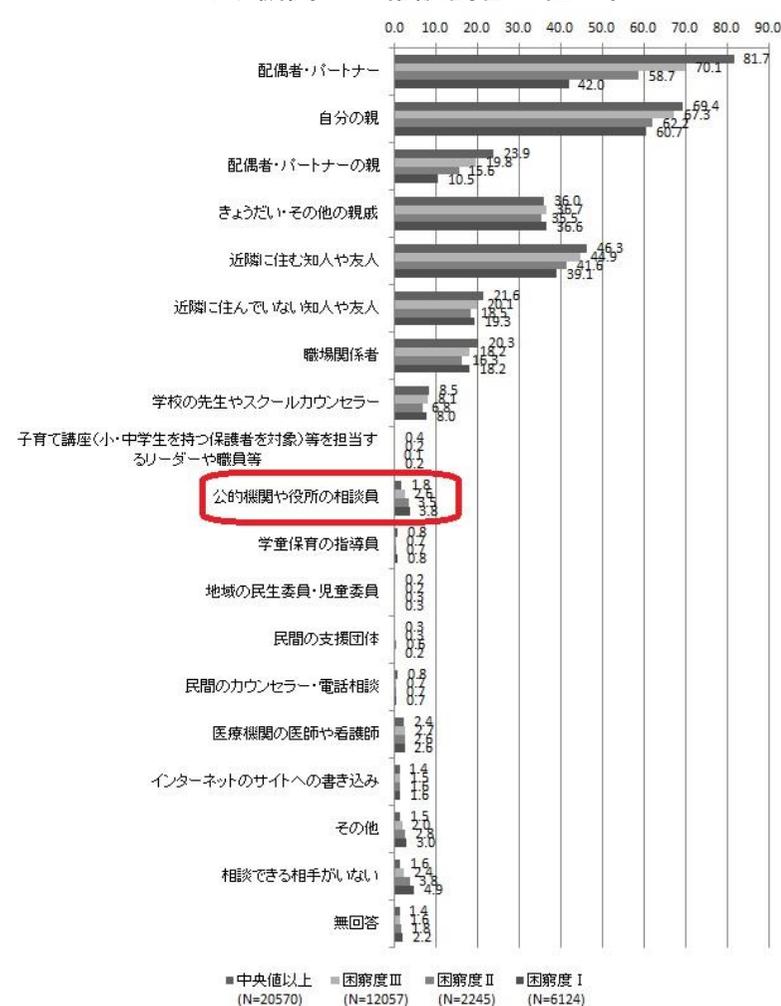
豊中市

◇保護者の相談相手については、
公的な機関への相談割合が低い。



大阪府全市町村 (43市町村)

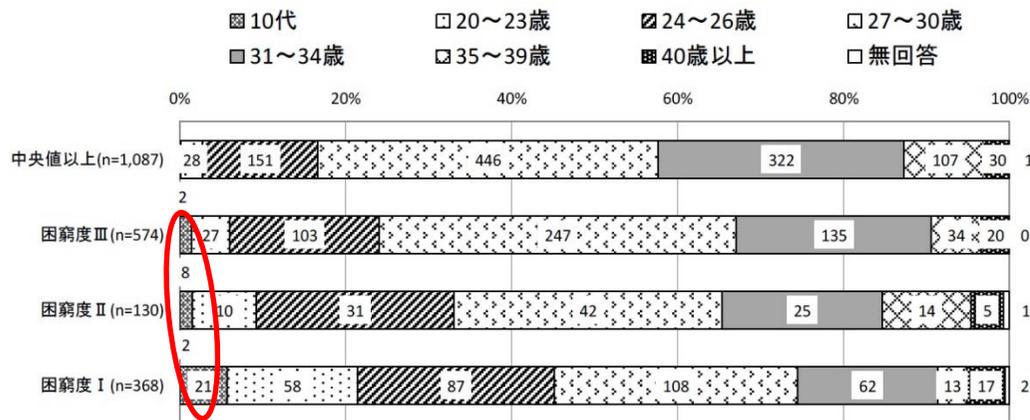
◇保護者の相談相手については、
公的な機関への相談割合が低い。



豊中市

◇はじめて親になった年齢と困窮度について、困窮度が高まるにつれて10代、および20~23歳の割合が高まる傾向が見られた。

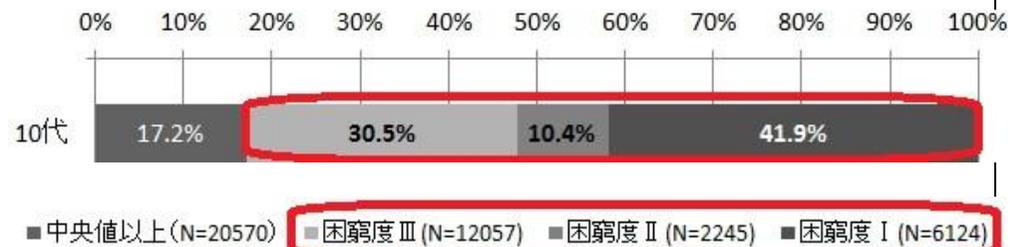
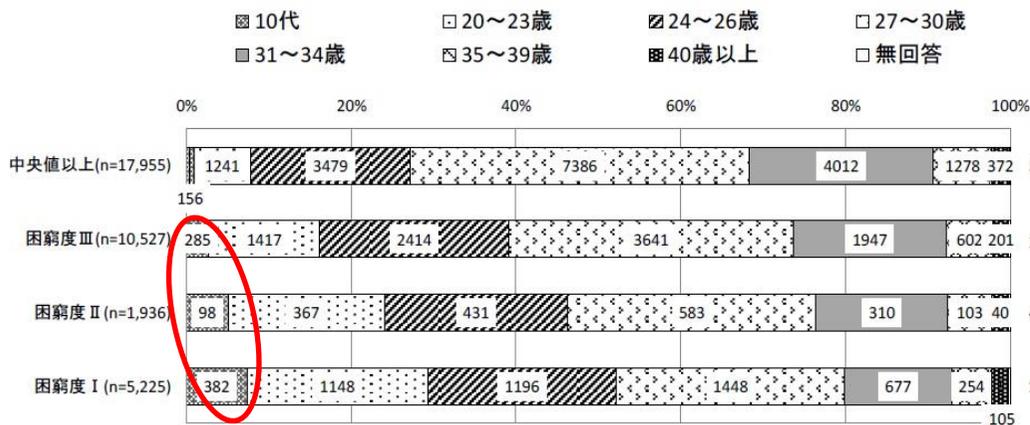
困窮度Ⅱ群では、10代および20~23歳をあわせると、約1割(9.2%)、
困窮度Ⅰ群では、2割(21.5%)を超え、低年齢出産と生活困窮との関連性が示された。



	中央値以上	困窮度Ⅲ	困窮度Ⅱ	困窮度Ⅰ
10代 33人	6.0% 2人	24.2% 8人	6.0% 2人	63.6% 21人
20~23歳 123人	22.8% 28人	22.0% 27人	8.1% 10人	47.2% 58人

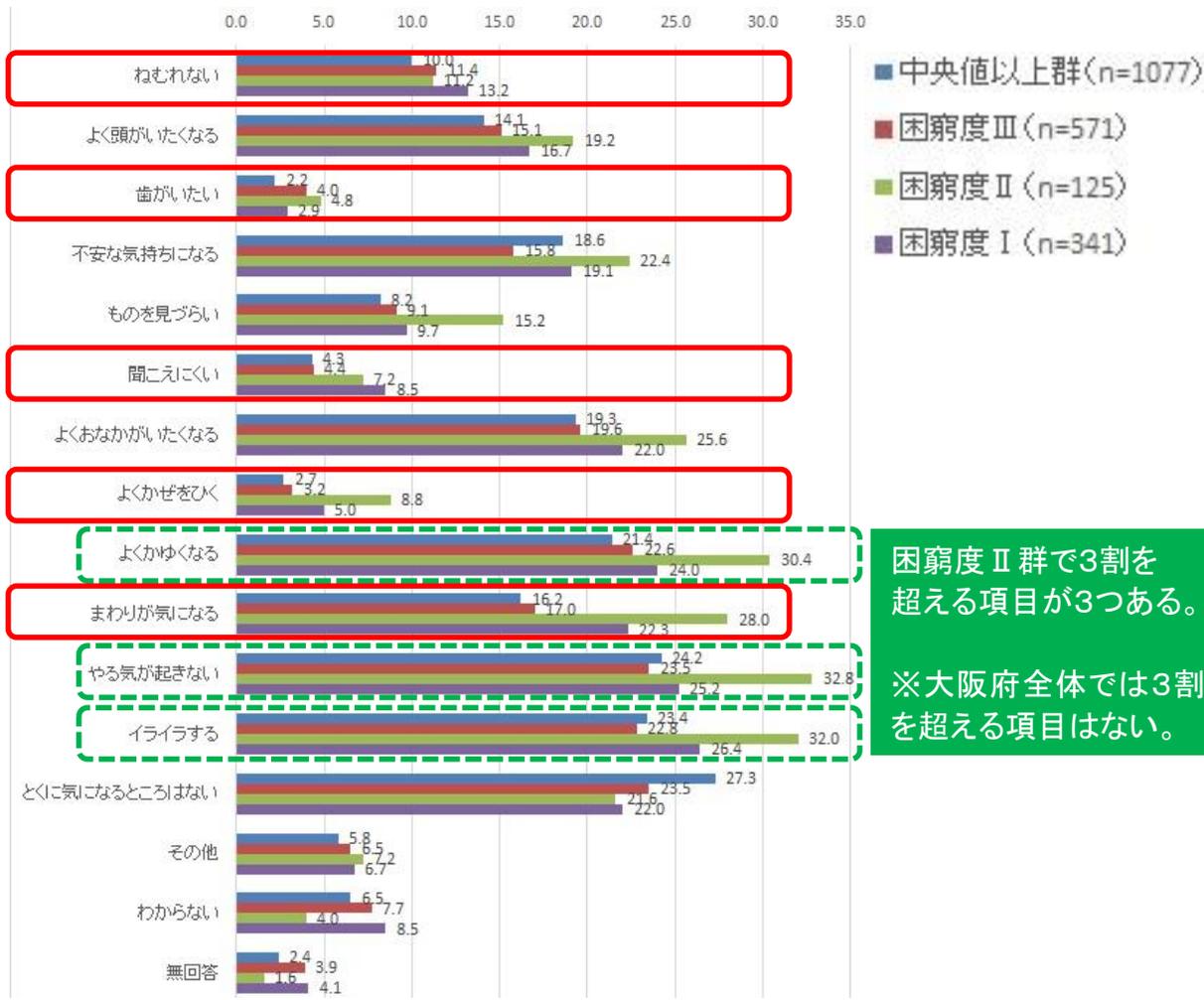
大阪府全市町村 (43市町村)

◇はじめて親になったのが10代の場合、困窮度が高い層が8割を超える。



豊中市

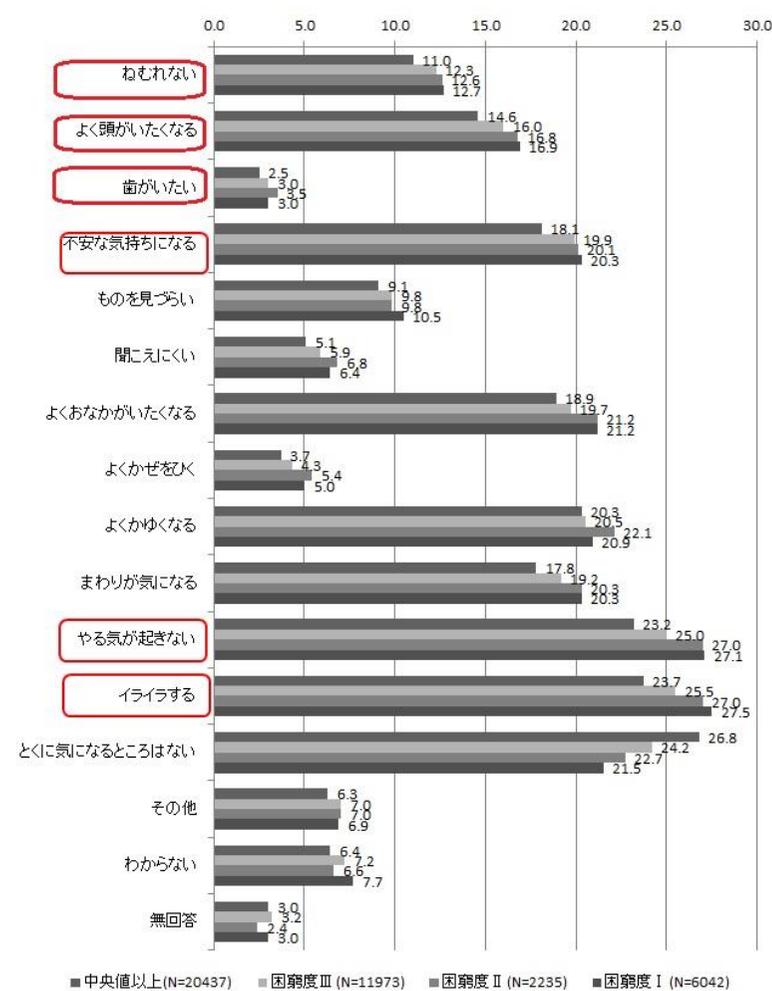
◇子どもの心身で気になることについては、困窮度Ⅰ群で、「聞こえにくい」8.5%（中央値以上群に対して、2.0倍）、「よくかぜをひく」5.0%（1.9倍）、「まわりが気になる」22.3%（1.4倍）、「ねむれない」13.2%（1.3倍）、「歯がいたい」2.9%（1.3倍）となり、困窮度Ⅰ群において高い項目が複数みられた。



困窮度Ⅱ群で3割を超える項目が3つある。
※大阪府全体では3割を超える項目はない。

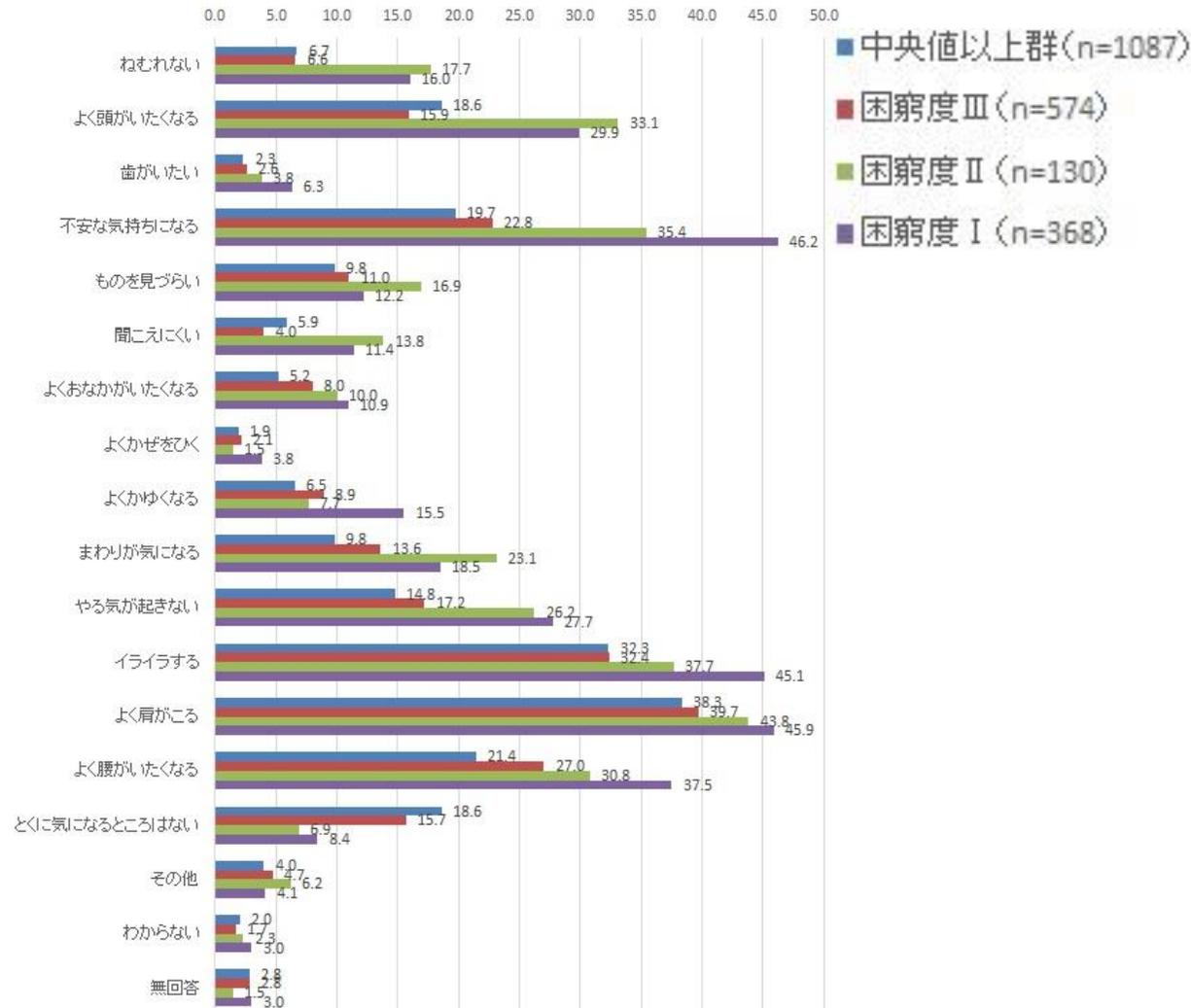
大阪府全市町村 (43市町村)

◇子どもの心身で気になることについては、困窮世帯ほど割合が高い傾向にある。



豊中市

◇保護者の心身で気になることについては、
困窮世帯ほど割合が全体的に高い。



大阪府全市町村 (43市町村)

◇保護者の心身で気になることについては、
困窮世帯ほど割合が全体的に高い。

